

岩手大学オープンキャンパスにおける環境科学教育の実施 HRSBエネルギー研究活動助成活動報告

実施担当 岩手大学 理工学部 高木浩一

平成28年10月15日に、岩手大学にて、オープンキャンパスが開催された。当日は、岩手大学の学祭である不来方祭りが開催していたことに加えて、講義の一環で大学3年生が、所属する学科・コースのオープンキャンパスに参加することとなっている。そのため、来訪者は高校生だけではなく、学祭に訪れた大学周辺の市民や、来年に研究室配属となる予定の大学3年生などであった。高木・高橋研究室では、夏(8月10日)のオープンキャンパスと同様、理工学部・電気電子通信コースの会場において、本研究室の研究活動の紹介として「人工カミナリの発生」のデモンストレーションを行った。夏の実施時とはことなり、訪問者が電気電子通信コースの大学生が多く、ある程度専門的な知識を持っており、単純に驚くだけではなく、知識と現象の相互理解ができているようであった。合計の来訪者は100名程度であるが、本ブースへの来訪者の割合は全体に比べても非常に高かった。

